平成 30 年度ビジットジャパン（ＶＪ）地方連携事業における九州運輸局の方針

１）最重点市場、重点市場及び対象市場

現状の九州の状況を踏まえ、以下の市場を最重点市場、重点市場及び対象市場として設定する。

①最重点市場

欧米豪（富裕層)、タイ

②重点市場

台湾、ベトナム、シンガポール

③対象市場

韓国、中国、香港、マレーシア、インドネシア、フィリピン

２）事業方針

以下の原則に沿って事業を進めることとし、特に重点事業に示す事業を実施する。

①原則

・「明日の日本を支える観光ビジョン」及び「平成２９年度訪日プロモーション方針」（観光庁・ＪＮＴＯ策定）に基づいて実施する。

・継続事業については、前年度の事業の成果や課題を踏まえ、創意工夫を施した上で実施する。

②重点事業

以下の事業について、重点的に実施する。

・富裕層を対象とした事業

・東京やゴールデンルートに集中する訪日外国人旅行者の地方への誘客に資する事業

（例）初訪日客に対して、ＳＮＳ等による切れ目無い情報発信を実施し、ゴールデンルート＋九州への誘客や、九州への直接の誘客を図る。

・ラグビーワールドカップ 2019（ＲＷＣ）や 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（オリパラ）を契機とした九州の認知度向上を図る事業

（例） ＲＷＣ及びオリパラの開催により「日本」の注目が高まる中で、「九州」を認知させるために、各種メディアに向けて、ＲＷＣにおける九州の開催地やオリパラにおける九州の合宿地域などを中心とした情報を発信する。

・九州運輸局の管轄を超えて実施する事業

（例）九州以外の自治体等と連携し、関西国際空港から中国～九州を周遊させるために、欧州の現地旅行会社を招請し、旅行商品の造成を図る。

※九州運輸局のＶＪ地方連携事業として実施するためには、連携先や事業内容を考慮する必要があるため、事業提案にあたっては運輸局に事前に相談すること。

・九州内の二次交通の利便性を発信する事業

（例） 現地のＦＩＴに人気があるパワーブロガー等を招請し、九州内の鉄道やバスを利用した旅行情報を発信する。

・ニューツーリズム等、テーマに特化した事業

（例）「テーマ別観光による地方誘客事業」（※）にて選定されたテーマに取り組むネットワーク組織と連携し、関連するメディアや旅行会社等を招請し、海外に向けて情報を発信する。

※「テーマ別観光による地方誘客事業」とは、観光庁により平成２８年度から実施されている事業であり、国内外の観光客が全国各地を訪れる動機を与えるため、特定の観光資源に魅せられて日本各地を訪れる「テーマ別観光」のモデルケースの形成を促進し、地方誘客を図ることを目的とした事業である。
なお、平成２９年度に選定されたテーマは以下のとおり。

新規選定テーマ	継続選定テーマ
アニメツーリズム	エコツーリズム
古民家等の歴史的資源	街道観光
サイクルツーリズム	酒蔵ツーリズム
全国ご当地マラソン	社寺観光　巡礼の旅
日本巡礼文化発祥の道	明治日本の産業革命遺産
忍者ツーリズム	ロケツーリズム
百年料亭	

事業概要については別添を参照。
選定されたテーマの概要は以下のＵＲＬを参照
新規選定テーマ：http://www.mlit.go.jp/common/001183097.pdf
継続選定テーマ：http://www.mlit.go.jp/common/001183100.pdf

（参考）ＶＪ地方連携事業　実施例

以下に代表的なＶＪ地方連携事業を示す。
なお、実施例に該当しない事業の場合でも、採択の対象となる。

・旅行会社招請　：海外の旅行会社等の関係者を招請し、ツアー造成・販売を支援

・海外現地商談会：海外の旅行会社等の関係者を招請し現地で商談会を開催

・メディア招請　：海外のテレビ局や雑誌社等を招請し、現地メディアでの発信を実施

・旅行情報提供（インターネット・ＳＮＳ）：海外の有名ブロガーを招請し九州の旅のＰＲを実施

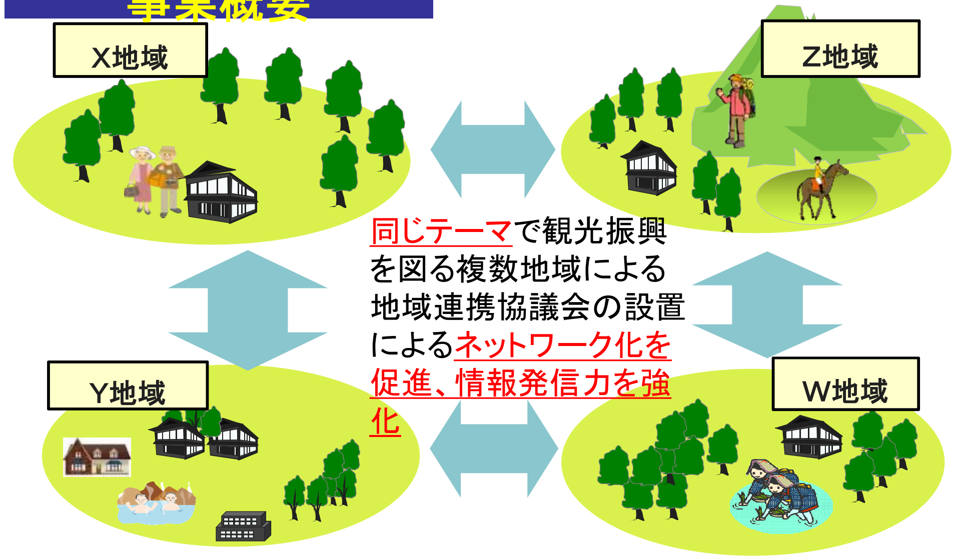
・イベント・旅行博出展：海外の旅行博等にブース出展し、九州の観光資源をＰＲする。

テーマ別観光による地方誘客事業

観光庁

共通の観光資源（世界遺産、街道、社寺、酒蔵、エコロジー等）により、観光振興を図る各地域をネットワーク化し、共同プロモーション等の取組を通じた、モデルケース形成を支援する。
地方誘客の促進とネットワークの自立、継続する仕組み構築を目指す。

事業概要



地域連携協議会の構成

各地域の市町村や
関係団体等から構成

事業の流れ

地域連携協議会の設立・準備

↓

地域連携協議会の設立

↓

ネットワーク化

↓

各地域間の情報共有と
共通した取組の実施

国による支援例

ネットワークの構築
- 地域連携協議会の設立

ネットワーク間の共同での取組
- マーケティング
- 共通パンフレット
- 周遊クーポン等の作成
- 周遊プランの形成
- 共同プロモーション
- 共同サイト開設

ネットワークの拡大推進
- シンポジウム開催
- 共通マニュアル作成　　等

支援計画

ネットワークの自立、継続のため、必要に応じ複数年の支援も予定

例

1年目	2年目	3年目	4年目～
・ネットワークの構築 ・マーケティング	・共同サイト開設 ・共同プロモーション ・モニターツアー開催	・共通マニュアル作成 ・周遊プラン形成	・**ネットワークの自立性、継続性の確立**

テーマ別観光の例

酒蔵ツーリズム

- 酒造りの現場見学会の開催
- 杜氏を交えた利き酒会
- 酒の副産物を活用した商品開発

期待される効果

旅行者

・我が国の固有のテーマを探求したいリピーター等に質の高い旅行を提供し、特定のテーマに関心の高い旅行者にとって、**より魅力的な旅行を享受**

各地域

・新たなテーマ設定による地域の観光資源の発掘
・旅行者の地方誘客動機を促し、**新たな需要を創出**

地域連携協議会

・地域間で課題や**成功事例を共有**することによる、**効果的な観光振興策の推進**